

高知新聞「声ひろば」小中高生コーナーに掲載されましたので紹介します！！

「大切な税金」に賛成

大月小6年

13日の「声ひろば」で、香美市楠目小6年、さんの「大切な税金」を読んで、私も税金が「私たちの生活を支えるための大事なもの」だと思います。理由は2つあります。1つ目は、私が学校に通えるのは、大人の人たちが納めた税金が使われているからです。2つ目は、税金がなくなると安心、安全な生活が送れなくなるからです。公共施設には、病院や交番などがふくまれており、体が弱い高齢者や障がいのある人には負担がかかり、必要な支援が受けられなくなると思います。私も皮ふが弱いので、病院の負担が大きくなってしまいます。また、道路が整備されてないと、崩れて通れなくなったりして、行きたい場所へ行けなくなります。さらに、自然災害が起こってしまうと、消防隊や救急隊がかけつけられず、緊急の支援を受けられずに困ってしまう人が多くなると思います。だから税金は、私たちの生活を支えるための大事なものだと思います。これからも、税金を納めてくれている人に感謝して学校生活を送りたいと思いました。これからの租税教室も、全力で取り組みたいと思います。

少数はこまることも

大月小6年

6月5日の「声ひろば」の須崎市南小、さんの投稿を読みました。少人数はこまることもあると、ちがう意味です。どこの市町村も少子化になやまされていることは、事実でしょう。私の小学校も人数が少ないです。前には200人近くいましたが、いまでは100人を切って92人です。人数が少ないと閑散な雰囲気です。他にも運動面や遊びなどでも限られるから、人数が多ければもっと楽しいのになあと思います。今は少人数で体調が落ち着いていることは良いことだと思うけど、大人になって社会に出た時に、それではこまることが必ず出てくると思います。例えば1人、2人にしか関わっていなければ、それだけの情報やつながりしかできないけど、例えば100人分の情報やつながりができ、その経験は、自分のこまった時に助けになったり、自信につながると思うからです。だから、少人数の所が快いかもしれないけど、少しずつ将来に向けて、気持ちを切りかえ、前に一歩、二歩ずつでもふみ出していくことを応援しています。私も人数は少ないけど、大月小学校で最後の1年頑張りたいです。

暮らしを支える税金

大月小6年

6月13日の「声ひろば」のさんの投稿を読んで、税金は毎日の生活に身近なものという意見に私も賛成です。社会の授業で税金について習って、税金の役割を知ったからです。税金は安全で健康な暮らしを守ったり、支援したり、平等に教育を受けられるようにすることやいろいろなことを整備したりすることに使われています。そのことが私たちの健康で文化的な生活のために役立っていると知りました。だから税金を納めることは義務になっていると思います。例えば、おなかが痛くなって救急車を呼ぶことになりました。その時、お金をはらいますか。近くで火事がありました。消防を呼びます。お金を払って呼びますか。私は払いません。なぜなら、税金を使ってくれるからです。大切な税金を払うのは義務であり、身近なことに使われることで、私たちの暮らしを支えてくれていると考えます。

【宿泊学習 in 幡多青少年の家】9月12日（金）～13日（土）

5年生の宿泊学習が予定通り1泊2日で、幡多青少年の家で行われました。

① 宿泊を伴う共同生活での交流を通して社会性を育てる。② 野外活動を通して自然に親しみ体験活動を行う。という目的で宿泊学習を行いました。心配していた天気にも恵まれシーカヤック体験やカレー作り、キャンドルサービス、川遊びなど子ども達は学校ではできないことをいっぱいすることができ元気に楽しい時間を過ごしていました。親元を離れての1泊2日の宿泊学習、一人ひとりが自立・友情・協力・達成感と多くのことを学んで帰ってきました。これからの5年生の学校での活躍にも期待しています。



※5年生18人が力を合わせて
思い出に残る2日間になりました。
お疲れさまでした！！